

## 展覧会情報

**うるしの近代—京都、「工芸」前夜から** 2014年7月19日(土) — 8月24日(日)  
KYOTO, Re-creation of Reminiscence — Lacquerware in Modern Japan



杉林古香《鶏梅時絵文庫》1906年 当館蔵

当展覧会では、まとまった形で紹介されることの少なかった京都の動向にスポットをあてて、近代の漆芸を紹介します。京塗を代表する塗師の木村表斎、明治の蒔絵師として名高い富田幸七、近代工芸の革新に中心的な役割を果たした浅井忠と神坂雪佳という二人の図案家、そして彼らの指導を受け、それぞれが京都を代表する漆芸家となった迎田秋悦、戸島光孚などの作品を、海外の美術館からの里帰り品も含めて一堂にご覧いただけます。京都の漆がどのように近代を迎えたのかを考えることで、「工芸」への新たな視点を探ります。

## 講演会

### 「うるしの近代」

中尾優衣(当館研究員)

日時: 2014年8月16日(土) 午後2時~3時30分

### 「京都の近代工芸産業と神坂雪佳・浅井忠(仮題)」

佐藤敬二氏(京都精華大学教授)

日時: 2014年8月23日(土) 午後2時~3時30分

会場: 京都国立近代美術館 1階講堂

定員: 100名

※聴講無料、当日午前11時から受付にて整理券配布

### 友の会特別解説会

日時: 2014年8月23日(土) 午後5時~6時

集合場所: 当館1階ロビー

集合時間: 午後4時55分

募集人数: 先着20名

解説者: 中尾優衣(当館研究員)

申し込み先: 京都国立近代美術館 事業係

電話: 075-761-4115

(月曜から金曜まで午前10時~午後5時)

※お申込の際は、お名前・会員番号をお伝えください。

### ギャラリートーク

日時: 8月2日、3日、8日、9日、10日、17日、24日  
(各日午前11時~11時40分)

講師: 京都漆器青年会有志+当館研究員

集合場所: 当館1Fインフォメーション

定員: 先着20名(当日午前10時より整理券を配布)

※聴講無料(要観覧券)

### 京都漆器青年会によるワークショップ

漆絵・蒔絵体験: 8月3日(日) 午後1時~4時

お箸に拭き漆: 8月24日(日) 午後1時~4時

金継ぎ: 8月10日(日)、17日(日) 午後1時~4時

※金継ぎのみ事前申込制。他は事前申込者優先、  
もしくは当日午後1時、2時、3時に随時受付。

参加費: 漆絵・蒔絵体験 / 3000円、お箸に拭き漆 / 2000円、  
金継ぎ / 6000円

主催: 京都漆器青年会、協力: 京都国立近代美術館

場所: 当館1F講堂

お申込、お問い合わせ先: 京都漆器青年会(担当: 佐藤貴彦)

Email: info@urusi.co.jp

TEL: 090-3827-0873

## 次回展覧会

**ホイットラー展 James MaNeill Whistler Retrospective** 2014年9月13日(土) — 11月16日(日)



ジェームズ・マクニール・ホイットラー(1834-1903)は19世紀後半を代表する画家・版画家です。また彼はジャポニズムの先駆的芸術家としても世界的に知られています。ホイットラーは、当時主流であった歴史や教訓を伝達するメディアとしての絵画を否定し、絵画そのものの表現力、つまり絵画における純粋な視覚的效果を追求しました。「芸術のための芸術」を目指す、いわば唯美主義の主導者として、彼は画面における色や形の調和に主眼をおいた作品を産み出し、同時代の芸術家たちに広く影響を与えました。本展覧会ではまず、パリ時代にギュスターヴ・クールベの作品と出会うことでリアリズム(写実主義)から出発したホイットラーが、唯美主義の画家として独自のスタイルを確立していくさまを、彼が主に手がけた二つのモチーフ、第一章の人物画と第二章の風景画でご紹介します。そして最後に、彼の画風展開における最も重要な契機であるジャポニズムが、どのような輝かしい成果へと結実したかを第三章でご覧いただけます。

平成26年度 第3回 コレクション展 7月16日(水)～8月31日(日)

主なテーマ

- パブロ・ピカソの絵画と版画
- 夏の日本画
- 漆黒の写真たち：W.ユージン・スミス《ピッツバーグ》
- 井田照一・1970年代の版画
- 「工芸」と民藝
- 現代のガラス
- 「具体」の作家たち：近年収蔵作品を中心に
- キュレトリアル・スタディズ 06：ヨシダミノルの絵画 1964-1967
- 屋外彫刻



会場写真：現代のガラス（左）、「具体」の作家たち：近年所蔵作品を中心に（右）

キュレトリアル・スタディズ 06  
「ヨシダミノルの絵画 1964-1967」



現在のコレクション展では、キュレトリアル・スタディズ 06 として、具体美術作家・ヨシダミノルの 1960 年代の絵画を特集展示しております。8月9日には右記の関連イベントも開催します。

講演会 + パフォーマンス

「ヨシダミノルとプラスチックの時代」

藤本由紀夫（アーティスト）+ 現代家族（荒木みどり・吉田省念・吉田朝麻）

日時：2014年8月9日（土）午前11時～午後1時

会場：京都国立近代美術館 1階講堂

定員：100名 ※聴講無料、事前申込制

※友の会会員の皆さまに特別参加枠をご用意しております。

ご希望の方は、下記連絡先までご連絡ください。

申し込み先：京都国立近代美術館 事業係

電話：075-761-4115

（月曜から金曜まで午前10時～午後5時）

※お申込の際は、お名前・会員番号をお伝えください。



NFC 所蔵作品選集 MoMAK Films 2014  
映画とジャポニスム—早川雪洲特集

8月8日（金）

午後6時～6時45分

作品解説：「早川雪洲が演じた日本人像と日系人社会」

講師：板倉史明氏（神戸大学大学院国際文化学研究所准教授）

午後7時～7時56分

『火の海（神々の怒り）』

1914年、監督：レジナルド・バーカー

8月9日（土）

午後2時～2時51分

『蛟龍を描く人』

1919年、監督：ウィリアム・ワーシントン

出演：澤登翠（弁士）、湯浅ジョウイチ（ギター）

午後3時～4時13分

『颱風』

1914年、監督：レジナルド・バーカー

出演：湯浅ジョウイチ（ギター）

1プログラム：500円（当日券のみ）

会場：当館一階講堂

チケットは会場入口にて販売、午後1時30分より販売開始

（8月8日は午後5時45分より）

各回入替制・定員100名

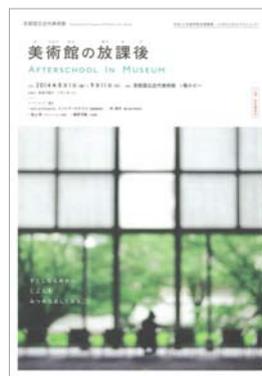
企画協力：川村健一郎（立命館大学映像学部准教授）

富田美香（立命館大学映像学部教授）

平成26年度学習支援事業

10代のためのプロジェクト「美術館の放課後」

8月1日（金）～9月11日（木）



チラシ表紙

この夏、10代の若い世代に美術館をもっと身近に感じてもらうためのプロジェクト「美術館の放課後」を開催します。期間中、1Fロビーには、いつでもだれでも自由な使い方で美術館に滞在できる、仮設スペースを設けます。またそのスペースでは、建築家、郷土菓子職人、アニメーション作家、小説家など、美術館には少し異色のプロフェッショナルたちによるワークショップも開催します。ご来館の際は、是非お立ち寄りください。

空間デザインワークショップ「わたしたちの空間デザイン計画」

7月12日（土）・13日（日）にワークショップを開催、11人の中高生が、講師のドットアーキテツと一緒に、ワークルームを設計しました。子どもたちが設計した空間デザインを元に、実寸のワークルームができあがります。



京都国立近代美術館賛助会員・一般会員

当館は下記、賛助会員の皆様からご支援・ご支持をいただいております。

